

がん治療の最前線 1

—サイバーナイフ, 中粒子線, 重粒子線治療—

昭和大学歯学部顎口腔疾患制御外科学講座

吉濱泰斗 Yasuto Yoshihama

新谷 悟 Satoru Shintani

はじめに

がんの標準的な治療法として、手術療法、抗がん剤による化学療法および放射線療法があります。このなかで放射線療法は、臓器や機能を温存したままで根治的な治療が行えるという特徴があります。われわれの扱う口腔がん領域は形態と機能の温存が重要な領域でもあり、以前から放射線療法が比較的頻用されてきました。近年では手術不能例や進行例に用いられ、さらに以下に示すような特殊な放射線治療の発達により治療成績も向上し、手術可能例であっても放射線治療を選択することが多くなってきています。

そこで、今回は最新の放射線治療について紹介したいと思います。さらに放射線治療による代表的な有害事象であり、歯科と関連する、口内炎と放射線性骨壊死の対処についても説明を加えたいと思います。

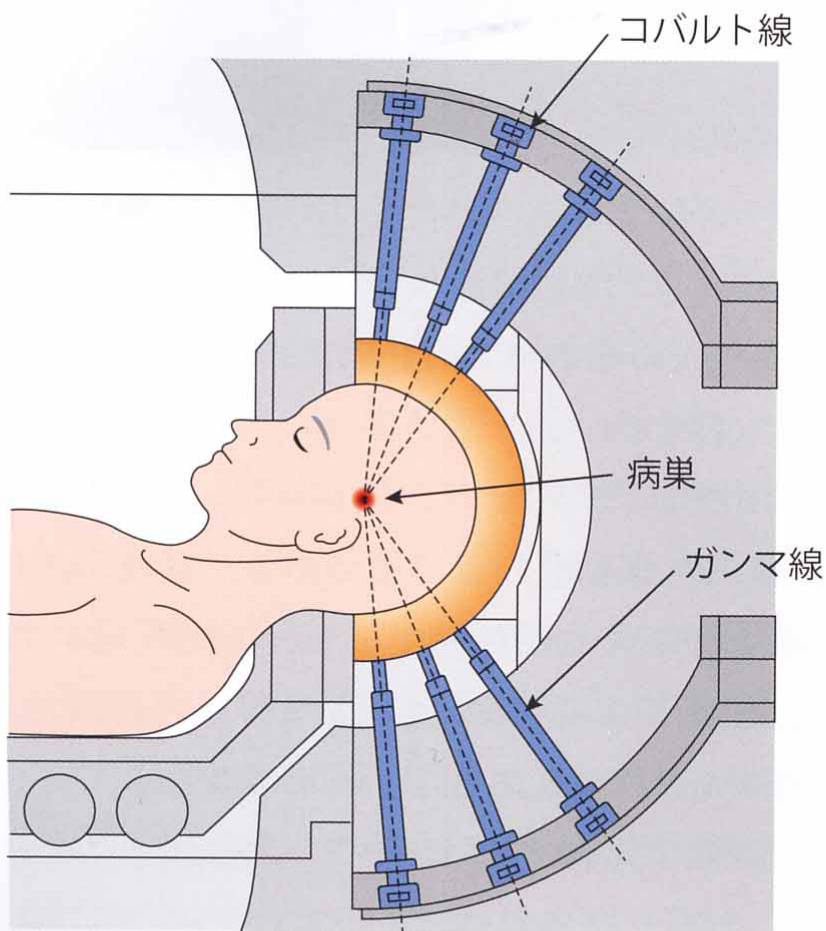


図1 ガンマナイフの構造